

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2002年 8月 9日

出 願 番 号
Application Number:

特願2002-233352

[ST.10/C]:

[JP2002-233352]

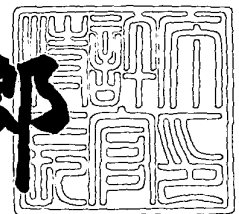
出 願 人
Applicant(s):

コニカ株式会社

2003年 5月 9日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3034703

【書類名】 特許願

【整理番号】 DIJ02590

【提出日】 平成14年 8月 9日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G11B 33/12

【発明の名称】 ディスクカートリッジ排出機構及び方法

【請求項の数】 6

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都八王子市石川町 2 9 7 0 番地 コニカ株式会社内

 【氏名】 関根 武彦

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都八王子市石川町 2 9 7 0 番地 コニカ株式会社内

 【氏名】 藤原 勝巳

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都八王子市石川町 2 9 7 0 番地 コニカ株式会社内

 【氏名】 江黒 孝一

【特許出願人】

 【識別番号】 000001270

 【氏名又は名称】 コニカ株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100085187

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 井島 藤治

【選任した代理人】

 【識別番号】 100090424

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 鮫島 信重

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 009542

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9004575

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ディスクカートリッジ排出機構及び方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ディスクカートリッジ内のメディアに対して情報の記録／再生が可能なローディング位置から、前記ディスクカートリッジを情報記録再生装置から取り出し可能なディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動させるディスクカートリッジ排出機構において、

少なくとも前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、前記ディスクカートリッジに係止して、前記ディスクカートリッジが前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置より更に取り出し方向に移動するのを禁止するカートリッジ係止手段と、

前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止するカートリッジ係止補助手段と、

前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、前記カートリッジ係止補助手段が前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止している状態を解除する補助解除手段と、

を有することを特徴とするディスクカートリッジ排出機構。

【請求項2】 ディスクカートリッジ内のメディアに対して情報の記録／再生が可能なローディング位置から、前記ディスクカートリッジを情報記録再生装置から取り出し可能なディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動させるディスクカートリッジ排出機構において、

前記ディスクカートリッジを排出方向に付勢する付勢手段と、

ローディング位置での前記ディスクカートリッジの移動を禁止するロック手段と、

前記ロック手段を解除するロック解除手段と、

少なくとも前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、前記ディスクカートリッ

ジに係止して、前記ディスクカートリッジが前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置より更に取り出し方向に移動するのを禁止するカートリッジ係止手段と

、
前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止するカートリッジ係止補助手段と、

前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、前記カートリッジ係止補助手段が前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止している状態を解除する補助解除手段と、

を有することを特徴とするディスクカートリッジ排出機構。

【請求項 3】 前記カートリッジ係止手段は、前記ディスクカートリッジの凹部に係合可能な凸部を有する弾性アームを有し、

前記カートリッジ係止補助手段は、前記カートリッジ係止手段の弾性アームの凸部が設けられた面と反対側の面が当接可能なロックアームを有することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のディスクカートリッジ排出機構。

【請求項 4】 前記カートリッジ係止補助手段は、

前記ロックアームが回転可能に設けられたプレートと、

前記ロックアームを前記弾性アーム方向に付勢するロックアーム付勢手段と、
を有することを特徴とする請求項 3 記載のカートリッジ排出機構。

【請求項 5】 前記カートリッジ係止補助手段のプレートは、

カートリッジ排出方向に移動可能に設けられ、

前記ロックアームに前記弾性アームが当接可能な位置と、前記ロックアームと前記弾性アームとの当接がない位置との間で前記プレートを案内するプレート案内手段とを有し、

前記ロック解除手段は、

イジェクトモータと、

該イジェクトモータにより回転駆動され、前記ロック手段と、前記カートリッジ係止補助手段とを解除する偏心ピンとを有し、

前記イジェクトモータを駆動すると、前記偏心ピンは、最初に、前記ロック手段を解除して、前記付勢手段の付勢力により前記ディスクカートリッジを前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ向かって移動させ、前記ディスクカートリッジが前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ到達した後に、前記ロックアームと前記弾性アームとの当接がない位置へ前記カートリッジ係止補助手段の前記プレートを移動させるようにしたことを特徴とする請求項 4 記載のカートリッジ排出機構。

【請求項 6】 ディスクカートリッジ内のメディアに対して情報の記録／再生が可能なローディング位置から、前記ディスクカートリッジを情報記録再生装置から取り出し可能なディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動させるディスクカートリッジ排出方法において、

少なくとも前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点では、前記ディスクカートリッジがそれ以上移動しない第 1 の保持力で保持し、その後、前記第 1 の保持力よりも小さな第 2 の保持力で保持することを特徴とするディスクカートリッジ排出方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ディスクカートリッジ内のメディアに対して情報の記録／再生が可能なローディング位置から、前記ディスクカートリッジを情報記録再生装置から取り出し可能なディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動させるディスクカートリッジ排出機構及びディスクカートリッジ排出方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

MO、PD、MD、DVD、フレキシブルディスク、スーパーフレキシブルディスク等の記録媒体は、一般にディスクカートリッジ内に収容されている。又、裸のディスクをドライブ装置挿入前に所定のカートリッジに収容したうえで、ドライブ装置へ挿入するようになっている。そして、このようなディスクカートリ

ッジを装置にセットし、ディスクカートリッジ内のメディアに対して情報の記録／再生が可能なローディング位置から、ディスクカートリッジを情報記録再生装置から取り出し可能なディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動させるにあたっては、ばね等の付勢手段の付勢力を用いたディスクカートリッジ排出機構がある。

【0003】

このようなディスクカートリッジ排出機構においては、付勢力により排出方向に付勢されたディスクカートリッジが取り出し可能位置を超えてさらに排出方向に移動するのを禁止するカートリッジ係止手段が設けられている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上記構成のディスクカートリッジ排出機構においては、ディスクカートリッジの厚さ、ディスクカートリッジの表面状態によっては、ディスクカートリッジの排出速度が速くなり、カートリッジ係止手段では係止できなくなる場合があり、ディスクカートリッジが装置外へ飛び出してしまう場合がある。

【0005】

このディスクカートリッジの装置外への飛び出しは、カートリッジ係止手段の係止力を大きくすることで解消できるが、ディスクカートリッジ取り出し位置からのディスクカートリッジの取り出す力が大きくなり、容易に取り出せない問題点がある。

【0006】

更に、ディスクカートリッジを付勢する付勢手段の付勢力を小さくすると、ディスクカートリッジの厚みが厚い場合や、開封直後のディスクカートリッジ表面に油分等が全く付着していない場合では、ディスクカートリッジがカートリッジ取り出し可能位置まで移動しない問題点がある。

【0007】

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたもので、その課題は、必ずディスクカートリッジがディスクカートリッジ取り出し可能位置で停止し、更に、ディスクカートリッジ取り出し可能位置からのディスクカートリッジの取出しが容易であ

るディスクカートリッジの排出機構及び方法を提供することにある。

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決する請求項 1 記載の発明は、ディスクカートリッジ内のメディアに対して情報の記録／再生が可能なローディング位置から、前記ディスクカートリッジを情報記録再生装置から取り出し可能なディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動させるディスクカートリッジ排出機構において、少なくとも前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、前記ディスクカートリッジに係止して、前記ディスクカートリッジが前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置より更に取り出し方向に移動するのを禁止するカートリッジ係止手段と、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止するカートリッジ係止補助手段と、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、前記カートリッジ係止補助手段が前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止している状態を解除する補助解除手段と、を有することを特徴とするディスクカートリッジ排出機構である。

【 0 0 0 9 】

請求項 2 記載の発明は、ディスクカートリッジ内のメディアに対して情報の記録／再生が可能なローディング位置から、前記ディスクカートリッジを情報記録再生装置から取り出し可能なディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動させるディスクカートリッジ排出機構において、前記ディスクカートリッジを排出方向に付勢する付勢手段と、ローディング位置での前記ディスクカートリッジの移動を禁止するロック手段と、前記ロック手段を解除するロック解除手段と、少なくとも前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、前記ディスクカートリッジに係止して、前記ディスクカートリッジが前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置より更に取り出し方向に移動するのを禁止するカートリッジ係止手段と、前記デ

ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止するカートリッジ係止補助手段と、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、前記カートリッジ係止補助手段が前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止している状態を解除する補助解除手段とを有することを特徴とするディスクカートリッジ排出機構である。

【 0 0 1 0 】

請求項 1 及び請求項 2 記載の発明では、少なくとも前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、前記ディスクカートリッジに係止して、前記ディスクカートリッジが前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置より更に取り出し方向に移動するのを禁止するカートリッジ係止手段と、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止するカートリッジ係止補助手段と、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、前記カートリッジ係止補助手段が前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止している状態を解除する補助解除手段とを有することにより、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、カートリッジ係止手段が前記ディスクカートリッジに係止して、前記ディスクカートリッジが前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置より更に取り出し方向に移動するのを禁止する。従って、必ずディスクカートリッジがディスクカートリッジ取り出し可能位置で停止する。

【 0 0 1 1 】

又、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、補助解除手段が、前記カートリッジ

係止補助手段が前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止している状態を解除することにより、カートリッジ取り出し可能位置でのディスクカートリッジの係止は、ディスクカートリッジ係止手段のみとなり、ディスクカートリッジの取出しが容易となる。

【 0 0 1 2 】

請求項 3 記載の発明は、前記カートリッジ係止手段は、前記ディスクカートリッジの凹部に係合可能な凸部を有する弾性アームを有し、前記カートリッジ係止補助手段は、前記カートリッジ係止手段の弾性アームの凸部が設けられた面と反対側の面が当接可能なロックアームを有することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のディスクカートリッジ排出機構である。

【 0 0 1 3 】

ディスクカートリッジの排出速度が速くなり、ディスクカートリッジの凹部に係合する凸部を有するカートリッジ係止手段の弾性アームが前記ディスクカートリッジの凹部より離反しようとしても、カートリッジ係止補助手段の前記カートリッジ係止手段の弾性アームの凸部が設けられた面と反対側の面が当接可能なロックアームに当接し、前記カートリッジ係止手段の弾性アームの凸部が前記ディスクカートリッジの凹部から離反するのを禁止する。よって、従って、必ずディスクカートリッジがディスクカートリッジ取り出し可能位置で停止する。

【 0 0 1 4 】

請求項 4 記載の発明は、前記カートリッジ係止補助手段は、前記ロックアームが回転可能に設けられたプレートと、前記ロックアームを前記弾性アーム方向に付勢するロックアーム付勢手段とを有することを特徴とする請求項 3 記載のカートリッジ排出機構である。

【 0 0 1 5 】

何らかの原因で大きな力がカートリッジ係止手段の弾性アームに作用し、弾性アームが前記ディスクカートリッジの凹部より離反しようとした際に、前記カートリッジ係止補助手段は、前記ロックアームが回転可能に設けられたプレートと、前記ロックアームを前記弾性アーム方向に付勢するロックアーム付勢手段とを有することにより、付勢手段の付勢力以上の力で前記弾性アームが離反しようと

した際には、ロックアームも弾性アームに押されて回転し、弾性アーム、ロックアームの破損を防止する。

【 0 0 1 6 】

請求項 5 記載の発明は、前記カートリッジ係止補助手段のプレートは、カートリッジ排出方向に移動可能に設けられ、前記ロックアームに前記弾性アームが当接可能な位置と、前記ロックアームと前記弾性アームとの当接がない位置との間で前記プレートを案内するプレート案内手段とを有し、前記ロック解除手段は、イジェクトモータと、該イジェクトモータにより回転駆動され、前記ロック手段と、前記カートリッジ係止補助手段とを解除する偏心ピンとを有し、前記イジェクトモータを駆動すると、前記偏心ピンは、最初に、前記ロック手段を解除して、前記付勢手段の付勢力により前記ディスクカートリッジを前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ向かって移動させ、前記ディスクカートリッジが前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ到達した後に、前記ロックアームと前記弾性アームとの当接がない位置へ前記カートリッジ係止補助手段の前記プレートを移動させるようにしたことを特徴とする請求項 4 記載のカートリッジ排出機構である。

【 0 0 1 7 】

前記カートリッジ係止補助手段のプレートは、カートリッジ排出方向に移動可能に設けられ、前記ロックアームに前記弾性アームが当接可能な位置と、前記ロックアームと前記弾性アームとの当接がない位置との間で前記プレートを案内するプレート案内手段とを有し、前記ロック解除手段は、イジェクトモータと、該イジェクトモータにより回転駆動され、前記ロック手段と、前記カートリッジ係止補助手段とを解除する偏心ピンとを有し、前記イジェクトモータを駆動すると、前記偏心ピンは、最初に、前記ロック手段を解除して、前記付勢手段の付勢力により前記ディスクカートリッジを前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ向かって移動させ、前記ディスクカートリッジが前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ到達した後に、前記ロックアームと前記弾性アームとの当接がない位置へ前記カートリッジ係止補助手段の前記プレートを移動させるようにしたことにより、必ずディスクカートリッジがディスク

カートリッジ取り出し可能位置で停止する。

【 0 0 1 8 】

請求項 6 記載の発明は、ディスクカートリッジ内のメディアに対して情報の記録／再生が可能なローディング位置から、前記ディスクカートリッジを情報記録再生装置から取り出し可能なディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動させるディスクカートリッジ排出方法において、少なくとも前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点では、前記ディスクカートリッジがそれ以上移動しない第 1 の保持力で保持し、その後、前記第 1 の保持力よりも小さな第 2 の保持力で保持することの特徴とするディスクカートリッジの排出方法である。

【 0 0 1 9 】

ディスクカートリッジ内のメディアに対して情報の記録／再生が可能なローディング位置から、前記ディスクカートリッジを情報記録再生装置から取り出し可能なディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動させるディスクカートリッジ排出方法において、少なくとも前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点では、前記ディスクカートリッジがそれ以上移動しない第 1 の保持力で保持し、その後、前記第 1 の保持力よりも小さな第 2 の保持力で保持することにより、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、カートリッジ係止手段がディスクカートリッジに係止すると共に、カートリッジ係止補助手段が前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止する。従って、必ずディスクカートリッジがディスクカートリッジ取り出し可能位置で停止する。

【 0 0 2 0 】

又、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、解除手段が前記カートリッジ係止補助手段の前記カートリッジ係止手段への係止を解除することにより、カートリッジ取り出し可能位置でのディスクカートリッジの係止は、ディスクカートリッジ係止手段のみとなり、ディスクカートリッジの取出しが容易となる。

【 0 0 2 1 】

【発明の実施の形態】

次に図面を用いて本発明の実施の形態のディスクカートリッジ排出機構を光磁気ディスクドライブ装置を例にあげて説明する。

【 0 0 2 2 】

(1) 外部構成

図 1 を用いて本実施の形態例のディスクカートリッジ排出機構が設けられた光磁気ディスクドライブ装置の外部構成を説明する。

【 0 0 2 3 】

図において、光磁気ディスクドライブ装置 1 のフロントベゼル（前面パネル）2 には、ディスクカートリッジが挿入されるカートリッジ挿入口 2 a が形成されている。

【 0 0 2 4 】

また、フロントベゼル 2 には、イジェクトスイッチ 2 b 及び取り出し金具 6 が挿入される穴 2 c が形成されている。

又、図 1 の分解斜視図である図 2 に示すように、本装置の筐体は、フロントベゼル 2 と、上ケース 4 a、下ケース 4 b とからなり、筐体内部には、ベース 8 と、回路基板 6 とが設けられている。そして、ベース 9 上には、カートリッジボックス 2 1 が設けられている。

【 0 0 2 5 】

(2) ディスクカートリッジ

図 3 を用いて、本実施の形態例に用いられるディスクカートリッジ 3 の説明を行う。

【 0 0 2 6 】

図に示すように、光磁気ディスク (M0) 1 0 は、ディスクカートリッジ 3 内に回転可能に収納されている。

ディスクカートリッジ 3 の一方の面には、光磁気ディスク 1 0 の記録面を外部に露出させる穴 3 a が、他方の面には、光磁気ディスク 1 0 のハブ 1 0 a まで外部に露出させる穴 3 a' が形成されている。

【 0 0 2 7 】

ディスクカートリッジ 3 の一方の面の穴 3 a 及び他方の面の穴 3 a' を隠蔽／開放するシャッター 7 がディスクカートリッジ 3 に対して移動可能に設けられ、このシャッター 7 は、一端部がディスクカートリッジ 3 に係止され、他端部がシャッター 7 に係止されたスプリング(不図示)によって、穴 3 a、穴 3 a' を隠蔽する方向に付勢されている。

【 0 0 2 8 】

(3) 内部構成

図 4 は、ディスクカートリッジ 3 が挿入されていない光磁気ディスクドライブ装置 1 から上ケース 4 a、下ケース 4 b、フロントベゼル 2、回路基板 6、フレキシブルプリント回路等を取り外し、図 1 において矢印 B 方向から見た図である。図 5 は図 4 のアームとシャッターオープナのみを示した図、図 6 は図 4 においてベース 9 側からカートリッジボックスの内側を見たときの図である。

【 0 0 2 9 】

図 4 に示すように、ベース 9 の上面には、カートリッジボックス 2 1 が設けられ、ディスクカートリッジ 3 は、ベース 9 の上面とカートリッジボックス 2 1 との間の空間に挿入されるようになっている。又、カートリッジボックス 2 1 には、光磁気ディスクに対して情報を記録又は消去する際に、光磁気ディスクに対して外部磁界を印加するためのバイアスマグネット 2 2 が設けられている。

【 0 0 3 0 】

カートリッジボックス 2 1 の上面には、第 1 ガイド溝 2 1 a が形成され、この第 1 ガイド溝 2 1 a には、ディスクカートリッジ 3 の挿入側の端面が当接するシャッターオープナ 2 3 が移動可能に係合している。

【 0 0 3 1 】

又、図 5、図 6 に示すように、ベース 9 と、カートリッジボックス 2 1 との間には、アーム 2 0 が配設され、このアーム 2 0 の基端部側は、ピン 1 9 を用いてカートリッジボックス 2 1 の内面に回転可能に取り付けられている。そして、中間部がピン 1 9 を巻回し、一方の端部がカートリッジボックス 2 1 に係止され、他方の端部がアーム 2 0 に係止されたスプリング 1 8 の付勢力により、カートリ

ッジ挿入口 2 a 方向に付勢されている。アーム 2 0 の先端部側には第 1 突起 2 0 a が形成されている。中間部が第 1 突起 2 0 a に巻回され、一方の端部がシャッターオープナ 2 3 に、他方の端部がアーム 2 0 に係止されたスプリング 1 7 により、シャッターオープナ 2 3 はカートリッジ挿入口 2 a 方向に付勢されている。従って、スプリング 1 7、スプリング 1 8 はディスクカートリッジ 3 を排出方向に付勢する付勢手段として機能している。

【 0 0 3 2 】

又、カートリッジボックス 2 1 には、アーム 2 0 の先端部に形成された第 2 突起 2 0 a が係合する第 2 ガイド溝 2 1 b が形成されている。

そして、ディスクカートリッジ 3 が、ベース 9 の上面とカートリッジボックス 2 1 との間の空間に挿入されると、シャッターオープナ 2 3 は第 1 ガイド溝 2 1 a に沿って移動し、ディスクカートリッジ 3 のシャッタ 7 に連設された連設部 7 a を押し、シャッタ 7 を開放する方向に移動させ、ディスクカートリッジ 3 の挿入が完了した状態では、図 7 に示すように、シャッタ 7 は全開状態となるように第 1 ガイド溝 2 1 a の形状が設定されている。

【 0 0 3 3 】

又、ベース 9 には、挿入されたディスクカートリッジ 3 の穴 3 a に対向する開口 9 g が形成され、この開口 9 g にディスクカートリッジ 3 の光磁気ディスク 1 0 の記録面に対してデータの書込／読み出しを行なう光ピックアップアクチュエータ 1 2 が設けられている。

【 0 0 3 4 】

次に、図 8 ～図 1 2 を用いてベース 9 の下面側の説明を行う。

ベース 9 の下面側には、以下の構成からなるディスクカートリッジ排出機構が設けられている。

【 0 0 3 5 】

図 8 に示すように、ベース 9 の下面の一方の側面には、ピン 3 1 を用いてロックレバー 3 0 が回転可能に設けられている。このロックレバー 3 0 の第 1 の回転端部側には、ベース 9 の上面方向に折曲され、挿入されるディスクカートリッジ 3 の角部 3 b に当接可能なカートリッジ当接面 3 0 a が形成されている。

【 0 0 3 6 】

そして、このロックレバー 3 0 は、一端部がロックレバー 3 0 に係止され、他端部がベース 9 に係止されたスプリング 3 2 により、そのカートリッジ当接面 3 0 a が挿入されるディスクカートリッジ 3 の角部 3 b に当接する方向に付勢されている。

【 0 0 3 7 】

ベース 9 には、スライドプレート 3 3 が配設されている。このスライドプレート 3 3 には、ディスクカートリッジ 3 の挿入方向に 4 つの長穴 3 3 a, 3 3 b, 3 3 f, 3 3 g が形成され、これらの長穴 3 3 a, 3 3 b, 3 3 f には、図 8 における切断線 A - A での断面図である図 9 に示すようにベース 9 に形成された折り曲げ片 9 a, 9 b, 9 g が係合し、又、長穴 3 3 g には、ベース 9 に設けられたピン 7 2 が係合し、スライドプレート 3 3 は、ディスクカートリッジ 3 の挿入方向にのみ移動可能となっている。更に、スライドプレート 3 3 は一端部がベース 9 に係止されたスプリング 3 6、スプリング 3 5 の付勢力により、カートリッジ挿入口方向に付勢されている。

【 0 0 3 8 】

そして、ディスクカートリッジ非挿入状態では、図 8 に示すように、スプリング 3 6、スプリング 3 5 の付勢力に抗して、スライドプレート 3 3 の係止部 3 3 c がロックレバー 3 0 の切り起こし係止部 3 0 b に係合した状態にある。

【 0 0 3 9 】

スライドプレート 3 3 上には、モータプレート 1 4 が配置されている。このモータプレート 1 4 には、スピンドルモータ 1 1 が取り付けられている。

スピンドルモータ 1 1 は、ベース 9 に設けられた図示しない穴を介してベース 9 の上面側へ突出可能となっている。

【 0 0 4 0 】

図 1 0 に示すように、モータプレート 1 4 の側面には、4 本のピン 1 5 が設けられ、これらのピン 1 5 は、スライドプレート 3 3 に形成されたカム溝 3 3 d に係合している。さらに、モータプレート 1 4 の 2 つの穴 1 4 b には、ベース 9 に立設された設けられたガイドバー 4 1 が係合する穴 1 4 b が形成され、ベース 9

に対して略垂直方向にのみ移動可能となっている。

【 0 0 4 1 】

従って、ディスクカートリッジ非挿入状態を示す図 8 において、ロックレバー 3 0 の切り起こし係止部 3 0 b とスライドプレート 3 3 の係止部 3 3 c との係止を解除すると、スプリング 3 6、スプリング 3 5 の付勢力により、スライドプレート 3 3 が矢印 I 方向に移動し、図 1 2 に示すような状態となる。すると、モータプレート 1 4 はカム溝 3 3 d により、ベース 9 に対して接近する方向に移動し、モータプレート 1 4 に設けられたスピンドルモータ 1 1 がベース 9 の穴 9 b を介してベース 9 の上面から突出する移動を行なうこととなる。

【 0 0 4 2 】

そして、モータプレート 1 4 がベース 9 に対して接近し、ベース 9 に配設された 3 本のストッパピン（図示せず）に当接することによりその移動は停止する。この時、スピンドルモータ 1 1 がベース 9 の上面から突出し、ディスクカートリッジ 3 内の光磁気ディスク 1 0 のハブ 1 0 a に係合する。さらに、図 1 0 に示すように、モータプレート 1 4 に設けられている位置決めピン 1 6 がディスクカートリッジ 3 の位置決め穴 3 c （図 2 参照）に係合することにより、ディスクカートリッジ 3 の移動が禁止される。すなわち、位置決めピン 1 6 はローディング位置でのディスクカートリッジ 3 の移動を禁止するロック手段として機能している。

【 0 0 4 3 】

その状態から、モータプレート 1 4 がベース 9 から離反すると、スピンドルモータ 1 1 がベース 9 の上面より下降し、ディスクカートリッジ 3 内の光磁気ディスク 1 0 のハブ 1 0 a との係合が解除され、さらに、モータプレート 1 4 に設けられている位置決めピン 1 6 がディスクカートリッジ 3 の位置決め穴 3 c から離脱することにより、ディスクカートリッジ 3 の移動が許可される。

【 0 0 4 4 】

図 8、図 1 0 に示すように、スライドプレート 3 3 に隣接して、イジェクトモータ 5 0 が設けられている。このイジェクトモータ 5 0 の出力軸には、円板 5 1 が取り付けられ、この円板 5 1 にはイジェクトモータ 5 0 の出力軸に対して偏心

した位置に設けられた偏心ピン 5 3 が設けられている。一方、スライドプレート 3 3 には、偏心ピン 5 3 が当接可能な折り曲げ当接部 3 3 e が形成されている。そして、スライドプレート 3 3 の係止部 3 3 c とロックレバー 3 0 の切り起こし係止部 3 0 b との係止が解除された状態では、イジェクトモータ 5 0 を駆動することにより、偏心ピン 5 3 がスプリング 3 6、スプリング 3 5 の付勢力に抗してスライドプレート 3 3 の折り曲げ当接部 3 3 e を押し、スライドプレート 3 3 が矢印 I 方向と反対方向に移動し、スライドプレート 3 3 の係止部 3 3 c がロックレバー 3 0 の切り起こし係止部 3 0 b に係止する。

【 0 0 4 5 】

図 8 に示すように、ベース 9 の他方の側面には、カートリッジ係止手段としてのカートリッジストッパ 6 1 が配設されている。このカートリッジストッパ 6 1 は、図 1 1 に示すように、ベース 9 の側面に形成されたガイド穴 9 d に係合し、ディスクカートリッジ 3 の挿入方向に移動可能となっている。カートリッジストッパ 6 1 には、挿入されるディスクカートリッジ 3 の前面に当接可能なアーム部 6 1 a を有している。更に、カートリッジストッパ 6 1 には、ディスクカートリッジ 3 の側面方向に可撓可能な弾性アーム部 6 1 b が形成され、この弾性アーム部 6 1 b の先端には、ディスクカートリッジ 3 の凹部としての係止溝 3 d (図 2 参照) に係合可能な凸部 6 1 c が形成されている。

【 0 0 4 6 】

一方、ベース 9 には、プレート 7 1 とロックアーム 8 1 からなるカートリッジ係止補助手段 7 0 が設けられている。プレート 7 1 には、カートリッジ挿入方向に延びる第 1 ガイド穴 7 1 a、第 2 ガイド穴 7 1 b が形成されている。そして、第 1 ガイド穴 7 1 a には、ベース 9 に取り付けられるピン 7 2 が挿通し、第 2 ガイド穴 7 1 b には、ベース 9 の折り曲げ片 9 e が係合することにより、プレート 7 1 はディスクカートリッジ 3 の挿入方向にのみ移動可能となっている。プレート 7 1 には、イジェクトモータ 5 0 によって駆動される偏心ピン 5 3 が当接可能な当接部 7 1 c が形成されている。そして、一方の端部がベース 9 の切り起こし係止部 9 f に係止されたスプリング 7 4 の他方の端部がプレート 7 1 の係止部 7 1 d に係止されることにより、プレート 7 1 はその当接部 7 1 c が偏心ピン 5 3

に当接する方向に付勢されている。

【0047】

プレート71上には、ピン73を用いてロックアーム81が回転可能に取り付けられている。このロックアーム81の一方の側部にはベース9方向に折り曲げられた折り曲げ部81bが形成されている。この折り曲げ部81bは、カートリッジストッパ61の弾性アーム部61bの凸部61cが設けられた面と反対側の面と当接可能となっている。更に、一方の端部がプレート71の切り起こし部71eに係止されたスプリング83の他方の端部がロックアーム81の切り起こし係止部81aに係止されることで、ロックアーム81は、折り曲げ部81bがカートリッジストッパ61の弾性アーム部61bに当接する方向に付勢されている。

【0048】

(3) 作動

(ディスクカートリッジ挿入)

最初に、ディスクカートリッジ3が挿入されていない状態を示す図1、図4、図8を用いて、ディスクカートリッジ3を挿入する際の作動を説明する。

【0049】

ディスクカートリッジ3をベース9の上面とカートリッジボックス21との間の空間に挿入すると、ディスクカートリッジ3に押されて、シャッターオープナ23は第1ガイド溝21aに沿って移動し、ディスクカートリッジ3のシャッター7を開く。又、このシャッターオープナ23の移動により、アーム20も第2ガイド溝21bに沿って移動する。

【0050】

又、ディスクカートリッジ3を挿入することにより、ディスクカートリッジ3の前面がカートリッジストッパ61のアーム部61aに当接すると同時に、カートリッジストッパ61の弾性アーム部61bの凸部61cがディスクカートリッジ3の係止溝3dに係合する。本実施の形態例では、弾性アーム部61bの係止力(第2の保持力)を500gf以下とした。更に、ディスクカートリッジ3を挿入すると、カートリッジストッパ61もスプリング63の付勢力に抗してディ

スクカートリッジ 3 と共に移動する。

【 0 0 5 1 】

尚、本明細書でいう「係止力」とは、ディスクカートリッジ 3 を引っ張ることにより、弾性アーム部 6 1 b の弾性力に抗して弾性アーム部 6 1 b の凸部 6 1 c がディスクカートリッジ 3 の係止溝 3 d から離反することにより、ディスクカートリッジ 3 の係止溝 3 d との係合を解除するに必要な力である。

【 0 0 5 2 】

そして、ディスクカートリッジ 3 の角部 3 b がロックレバー 3 0 のカートリッジ当接面 3 0 a を押すと、ロックレバー 3 0 がピン 3 1 を中心に回転し、ロックレバー 3 0 の切り起こし係止部 3 0 b とスライドプレート 3 3 の係止部 3 3 c との係止が解除される。そして、スライドプレート 3 3 はスプリング 3 6、スプリング 3 5 の付勢力により、図 8 において矢印 I 方向に移動し、図 1 2 に示すような状態となる。

【 0 0 5 3 】

この時、モータプレート 1 4 はスライドプレート 3 3 のカム溝 3 3 d により、ベース 9 に対して接近する方向に移動し、モータプレート 1 4 に設けられたスピンドルモータ 1 1 がベース 9 の穴 9 b を介してベース 9 の上面から突出する移動を行なうこととなる。

【 0 0 5 4 】

そして、モータプレート 1 4 がベース 9 に対して接近し、ベース 9 に設けられた 3 本のストッパピン（図示せず）に当接すると、スピンドルモータ 1 1 がベース 9 の上面から突出し、ディスクカートリッジ 3 内の光磁気ディスク 1 0 のハブ 1 0 a に係合する。さらに、図 1 0 に示すように、モータプレート 1 4 に設けられている位置決めピン 1 6 がディスクカートリッジ 3 の位置決め穴 3 c（図 2 参照）に係合することにより、ディスクカートリッジ 3 の移動が禁止される。

【 0 0 5 5 】

そして、光ピックアップアクチュエータ 1 2 により、データの書き込み／読み出しが可能な状態、すなわち、図 1 2 に示す状態、ローディング状態となる。

（ディスクカートリッジ排出）

イジェクトスイッチ 2 b を押すと、イジェクトモータ 5 0 が回転し、最初に、偏心ピン 5 3 はスプリング 3 6、スプリング 3 5 の付勢力に抗してスライドプレート 3 3 の折り曲げ当接部 3 3 e を押し、スライドプレート 3 3 が矢印 I 方向と反対方向に移動し、スライドプレート 3 3 の係止部 3 3 c がロックレバー 3 0 の切り起こし係止部 3 0 b に再び係止する。

【 0 0 5 6 】

このスライドプレート 3 3 の移動により、モータプレート 1 4 はベース 9 から離れる方向に移動し、モータプレート 1 4 に設けられたスピンドルモータ 1 1 と、ディスクカートリッジ 3 内の光磁気ディスク 1 0 のハブ 1 0 a との係合が解除される。さらに、モータプレート 1 4 に設けられている位置決めピン 1 6 と、ディスクカートリッジ 3 の位置決め穴 3 c との係合も解除され、ディスクカートリッジ 3 は移動可能となる。

【 0 0 5 7 】

ディスクカートリッジ 3 が移動可能となると、シャッターオープナ 2 3 を付勢するスプリング 1 7、アーム 2 0 を付勢するスプリング 1 8、及びカートリッジストッパ 6 1 を付勢するスプリング 6 3 の弾性反発力により、ディスクカートリッジ 3 は排出方向に移動する。この時、カートリッジストッパ 6 1 もディスクカートリッジ 3 と共に移動する。

【 0 0 5 8 】

そして、カートリッジストッパ 6 1 がガイド穴 9 d の終端に当接すると、図 1 3 に示すようにディスクカートリッジ 3 の移動が停止する。このディスクカートリッジ 3 の位置がカートリッジ取り出し可能位置である。この時、ディスクカートリッジ 3 の後部がカートリッジ挿入口 2 a より外部に突出し、装置外部からディスクカートリッジ 3 を取り出し可能な状態となる。

【 0 0 5 9 】

ロックアーム 8 1 が設けられたプレート 7 1 は、スプリング 7 4 により矢印 I 方向と反対方向に付勢されており、常に当接部 7 1 C がイジェクトモータ 5 0 の偏心ピン 5 3 に当接することにより、プレート 7 1 の矢印 I 方向の位置は決定されることとなる。従って、プレート 7 1 は、イジェクトモータ 5 0 の偏心ピン 5

3の回転と常に連動して、矢印I方向又は矢印I方向と反対方向に移動することとなる。

【0060】

又、この時点では、カートリッジ係止補助手段70のスプリング83により付勢されたロックアーム81がカートリッジストッパ61の弾性アーム部61bの凸部61cが設けられた面と反対側の面と当接可能となっている。尚、本実施の形態例では、スプリング83で付勢されたロックアーム81と、カートリッジストッパ61の弾性アーム部61bとを合わせた係止力（第1の保持力）は800gf以上とした。

【0061】

そして、イジェクトモータ50が更に回転し、今度は、偏心ピン53はプレート71の当接部71cを矢印I方向に押す。これにより、プレート71はスプリング74の付勢力に抗して移動し、ロックアーム81のカートリッジストッパ61の弾性アーム部61bの凸部61cが設けられた面と反対側の面と当接可能な状態が解除される。

【0062】

上記構成によれば、以下のような効果を得ることができる。

(1) ディスクカートリッジ3が図12に示すローディング位置から図13に示すディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、カートリッジ係止手段としてのカートリッジストッパ61のディスクカートリッジ3への係止の解除を防止するカートリッジ係止補助手段70と、ディスクカートリッジ3がローディング位置からディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、カートリッジ係止補助手段70のカートリッジストッパ61への係止を解除する解除手段である偏心ピン53とを有することにより、ディスクカートリッジ3がローディング位置からディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、カートリッジストッパ61がディスクカートリッジ3に係止すると共に、カートリッジ係止補助手段70がカートリッジストッパ61のディスクカートリッジ3への係止の解除を防止する。すなわち、前述した第1の保持力（800gf以上）で保持する。従って、必ずディスクカートリッジ3がディスクカートリッジ取り

出し可能位置で停止する。

【 0 0 6 3 】

又、ディスクカートリッジ 3 がローディング位置からディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、偏心ピン 5 3 がカートリッジ係止補助手段 7 0 のカートリッジストッパ 6 1 への係止を解除することにより、すなわち、第 2 の保持力（5 0 0 g f 以下）で保持することにより、カートリッジ取り出し可能位置でのディスクカートリッジの係止は、カートリッジストッパ 6 1 のみとなり、ディスクカートリッジ 3 の取出しが容易となる。

（2）ディスクカートリッジ 3 の排出速度が速くなり、ディスクカートリッジ 3 の係止溝 3 d に係合する凸部 6 1 c を有するカートリッジストッパ 6 1 の弾性アーム部 6 1 b がディスクカートリッジ 3 の係止溝 3 d より離反しようとしても、カートリッジ係止補助手段 7 0 の弾性アーム部 6 1 b の凸部 6 1 c が設けられた面と反対側の面が当接可能なロックアーム 8 1 に当接し、カートリッジストッパ 6 1 の弾性アーム部 6 1 b の凸部 6 1 c がディスクカートリッジ 3 の係合溝 3 d から離反するのを禁止する。

【 0 0 6 4 】

よって、従って、必ずディスクカートリッジ 3 がディスクカートリッジ取り出し可能位置で停止する。

（3）何らかの原因で大きな力がカートリッジストッパ 6 1 の弾性アーム部 6 1 b に作用し、弾性アーム部 6 1 b がディスクカートリッジ 3 の係止溝 3 d より離反しようとした際に、カートリッジ係止補助手段 7 0 は、ロックアーム 8 1 が回転可能に設けられたプレート 7 1 と、ロックアーム 8 1 をカートリッジストッパ 6 1 の弾性アーム部 6 1 b 方向に付勢するロックアーム付勢手段であるスプリング 8 3 とを有することにより、スプリング 8 3 の付勢力以上の力で弾性アーム部 6 1 b がディスクカートリッジ 3 より離反しようとした際には、ロックアーム 8 1 も弾性アーム部 6 1 b に押されて回転し、弾性アーム部 6 1 b、ロックアーム 8 1 の破損を防止する。

（4）イジェクトモータ 5 0 を駆動することにより、最初に、ロック解除手段としてのスライドプレート 3 3 を駆動し、ディスクカートリッジ 3 をローディング

位置からディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動させ、ディスクカートリッジ 3 がディスクカートリッジ取り出し可能位置へ到達した後に、カートリッジ係止補助手段 7 0 のロックアーム 8 1 とカートリッジストッパ 6 1 の弾性アーム部 6 1 b との当接がない位置へカートリッジ係止補助手段 7 0 のプレート 7 1 を移動させるようにしたことにより、必ずディスクカートリッジ 3 がディスクカートリッジ取り出し可能位置で停止する。

【 0 0 6 5 】

本発明は、上記実施の形態例に限定するものではない。上記実施の形態例では、ディスクカートリッジ 3 の係止溝 3 d に係合するカートリッジストッパ 6 1 は移動可能としたが、ベース 9 に固定であっても良い。

【 0 0 6 6 】

【発明の効果】

以上述べたように請求項 1 又は請求項 6 記載の発明によれば、少なくとも前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、前記ディスクカートリッジに係止して、前記ディスクカートリッジが前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置より更に取り出し方向に移動するのを禁止するカートリッジ係止手段と、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止するカートリッジ係止補助手段と、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、前記カートリッジ係止補助手段が前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止している状態を解除する補助解除手段とを有することにより、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、カートリッジ係止手段が前記ディスクカートリッジに係止して、前記ディスクカートリッジが前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置より更に取り出し方向に移動するのを禁止する。従って、必ずディスクカートリッジがディスクカートリッジ取り出し可能位置で停止する。

【 0 0 6 7 】

又、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、補助解除手段が、前記カートリッジ係止補助手段が前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止している状態を解除することにより、カートリッジ取り出し可能位置でのディスクカートリッジの係止は、ディスクカートリッジ係止手段のみとなり、ディスクカートリッジの取出しが容易となる。

【 0 0 6 8 】

請求項 2 記載の発明によれば、ディスクカートリッジの排出速度が速くなり、ディスクカートリッジの凹部に係合する凸部を有するカートリッジ係止手段の弾性アームが前記ディスクカートリッジの凹部より離反しようとしても、カートリッジ係止補助手段の前記カートリッジ係止手段の弾性アームの凸部が設けられた面と反対側の面が当接可能なロックアームに当接し、前記カートリッジ係止手段の弾性アームの凸部が前記ディスクカートリッジの凹部から離反するのを禁止する。よって、従って、必ずディスクカートリッジがディスクカートリッジ取り出し可能位置で停止する。

【 0 0 6 9 】

請求項 3 記載の発明によれば、何らかの原因で大きな力がカートリッジ係止手段の弾性アームに作用し、弾性アームが前記ディスクカートリッジの凹部より離反しようとした際に、前記カートリッジ係止補助手段は、前記ロックアームが回転可能に設けられたプレートと、前記ロックアームを前記弾性アーム方向に付勢するロックアーム付勢手段とを有することにより、付勢手段の付勢力以上の力で前記弾性アームが離反しようとした際には、ロックアームも弾性アームに押されて回転し、弾性アーム、ロックアームの破損を防止する。

【 0 0 7 0 】

請求項 4 記載の発明によれば、前記カートリッジ係止補助手段のプレートは、カートリッジ排出方向に移動可能に設けられ、前記ロックアームに前記弾性アームが当接可能な位置と、前記ロックアームと前記弾性アームとの当接がない位置との間で前記プレートを案内するプレート案内手段とを有し、前記ロック解除手

段は、イジェクトモータと、該イジェクトモータにより回転駆動され、前記ロック手段と、前記カートリッジ係止補助手段とを解除する偏心ピンとを有し、前記イジェクトモータを駆動すると、前記偏心ピンは、最初に、前記ロック手段を解除して、前記付勢手段の付勢力により前記ディスクカートリッジを前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ向かって移動させ、前記ディスクカートリッジが前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ到達した後に、前記ロックアームと前記弾性アームとの当接がない位置へ前記カートリッジ係止補助手段の前記プレートを移動させるようにしたことにより、必ずディスクカートリッジがディスクカートリッジ取り出し可能位置で停止する。

【 0 0 7 1 】

請求項 5 記載の発明によれば、ディスクカートリッジ内のメディアに対して情報の記録／再生が可能なローディング位置から、前記ディスクカートリッジを情報記録再生装置から取り出し可能なディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動させるディスクカートリッジ排出方法において、少なくとも前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点では、前記ディスクカートリッジがそれ以上移動しない第 1 の保持力で保持し、その後、前記第 1 の保持力よりも小さな第 2 の保持力で保持することにより、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、カートリッジ係止手段がディスクカートリッジに係止すると共に、カートリッジ係止補助手段が前記カートリッジ係止手段の前記ディスクカートリッジへの係止の解除を防止する。従って、必ずディスクカートリッジがディスクカートリッジ取り出し可能位置で停止する。

【 0 0 7 2 】

又、前記ディスクカートリッジが前記ローディング位置から前記ディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、解除手段が前記カートリッジ係止補助手段の前記カートリッジ係止手段への係止を解除することにより、カートリッジ取り出し可能位置でのディスクカートリッジの係止は、ディスクカートリッジ係止手段のみとなり、ディスクカートリッジの取出しが容易となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施の形態例のディスクカートリッジ排出機構が設けられた光磁気ディスクドライブ装置の外部構成を説明する図である。

【図 2】

本実施の形態例の光ディスクドライブ装置に用いられるディスクカートリッジを説明する図である。

【図 3】

図 1 の分解斜視図である。

【図 4】

ディスクカートリッジが挿入されていない光磁気ディスクドライブ装置から上ケース、下ケース、フロントベゼル、回路基板、フレキシブルプリント回路等を取り外し、図 1 において矢印 B 方向から見た図である。

【図 5】

図 4 のアームとシャッターオープナのみを示した図である。

【図 6】

図 6 は図 4 においてベース側からカートリッジボックスの内側を見たときの図である。

【図 7】

図 4 でディスクカートリッジを挿入した状態を示す図である。

【図 8】

ディスクカートリッジが挿入されていない図 1 の光磁気ディスクドライブ装置から外装部、フロントベゼル、電気制御部、フレキシブルプリント回路等を取り外し、図 1 において矢印 C 方向から見た図である。

【図 9】

図 8 における切断線 A - A での断面図である。

【図 1 0】

図 8 のロックレバー、スライドプレート、モータプレートイジェクトモータの斜視図である。

【図 1 1】

図 8 のカートリッジ係止手段、カートリッジストッパの斜視図である。

【図 1 2】

図 8 においてカートリッジがローディング位置にある状態を示す図である。

【図 1 3】

図 8 においてカートリッジが取り出し可能位置にある状態を示す図である。

【符号の説明】

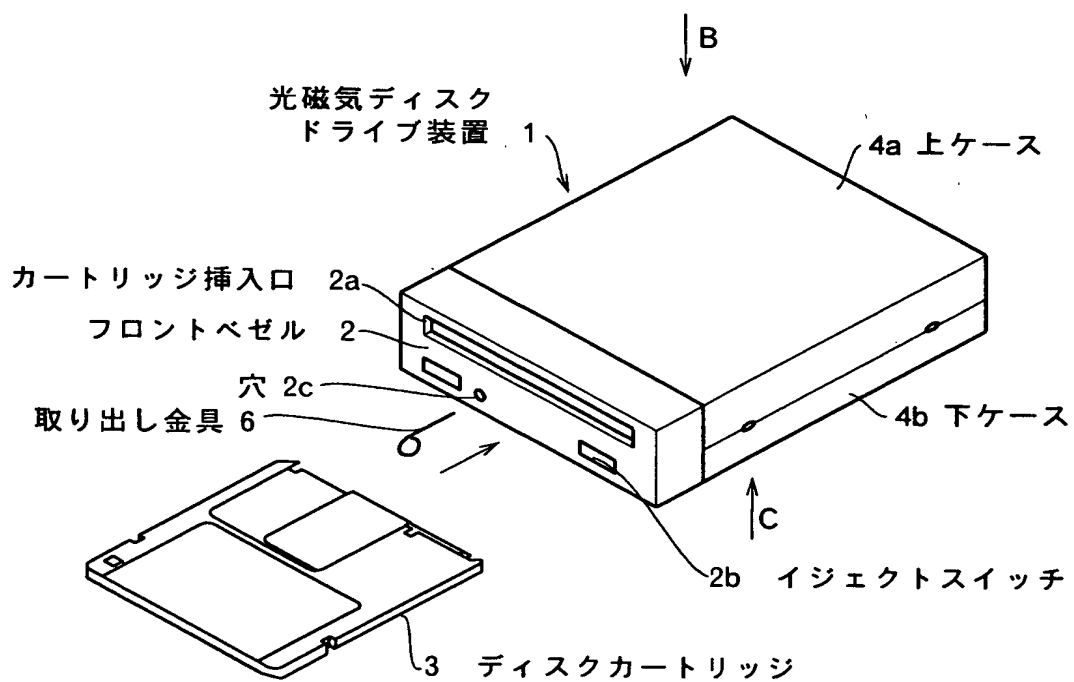
3 ディスクカートリッジ

6 1 カートリッジストッパ（カートリッジ係止手段）

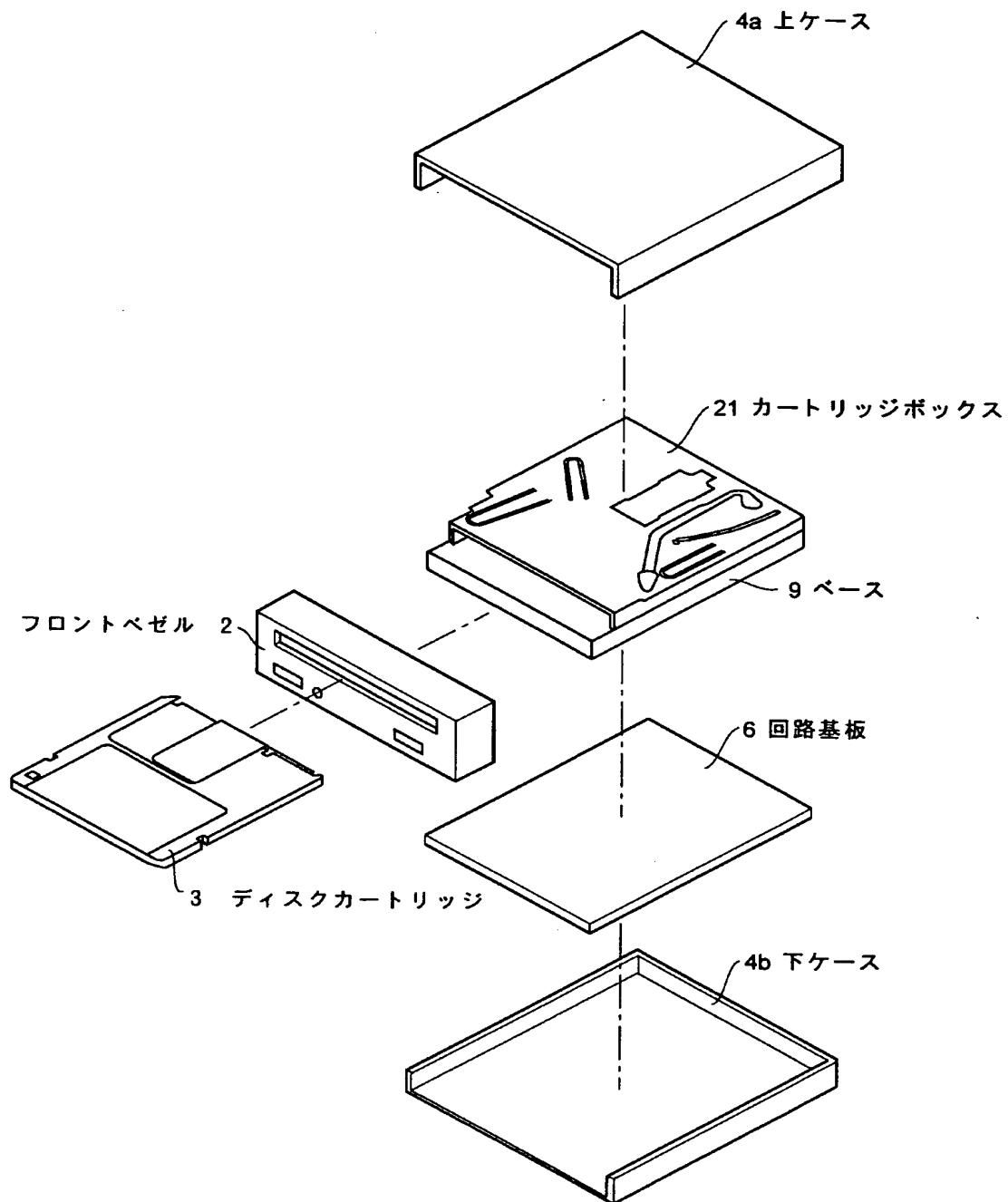
7 0 カートリッジ係止補助手段

【書類名】 図面

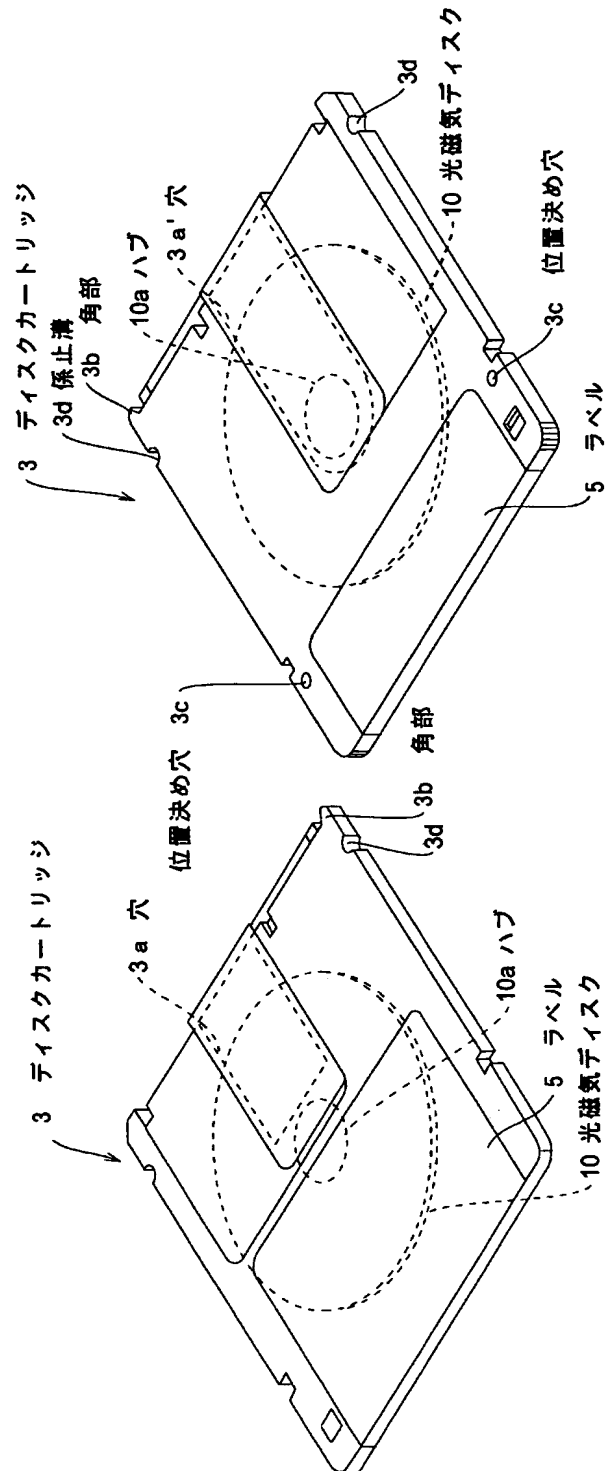
【図 1】



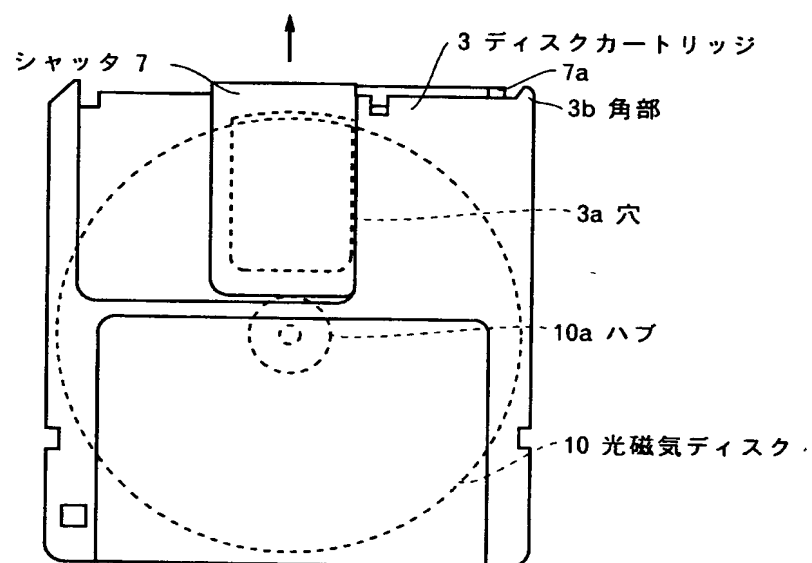
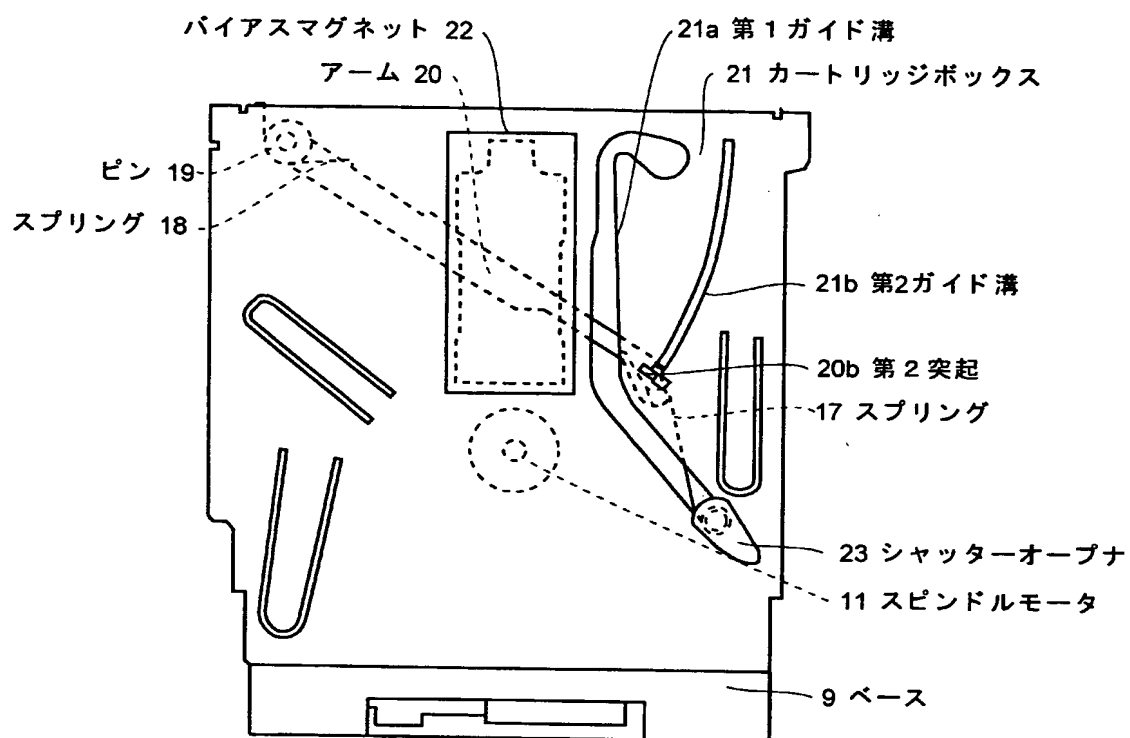
【図 2】



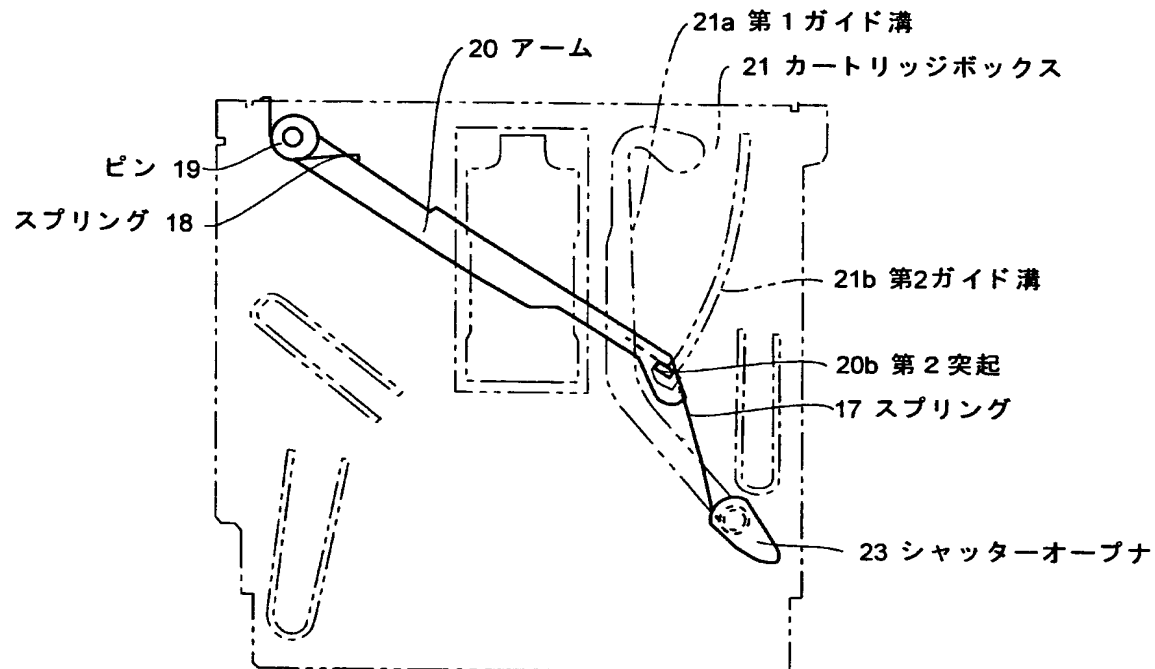
【図 3】



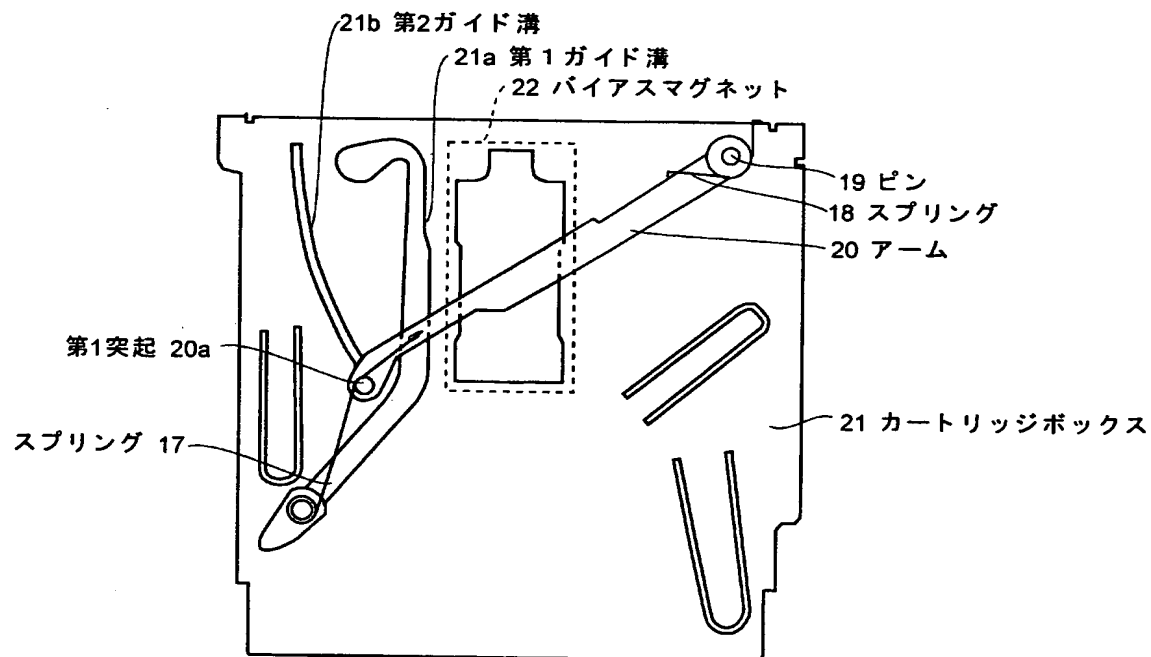
【図4】



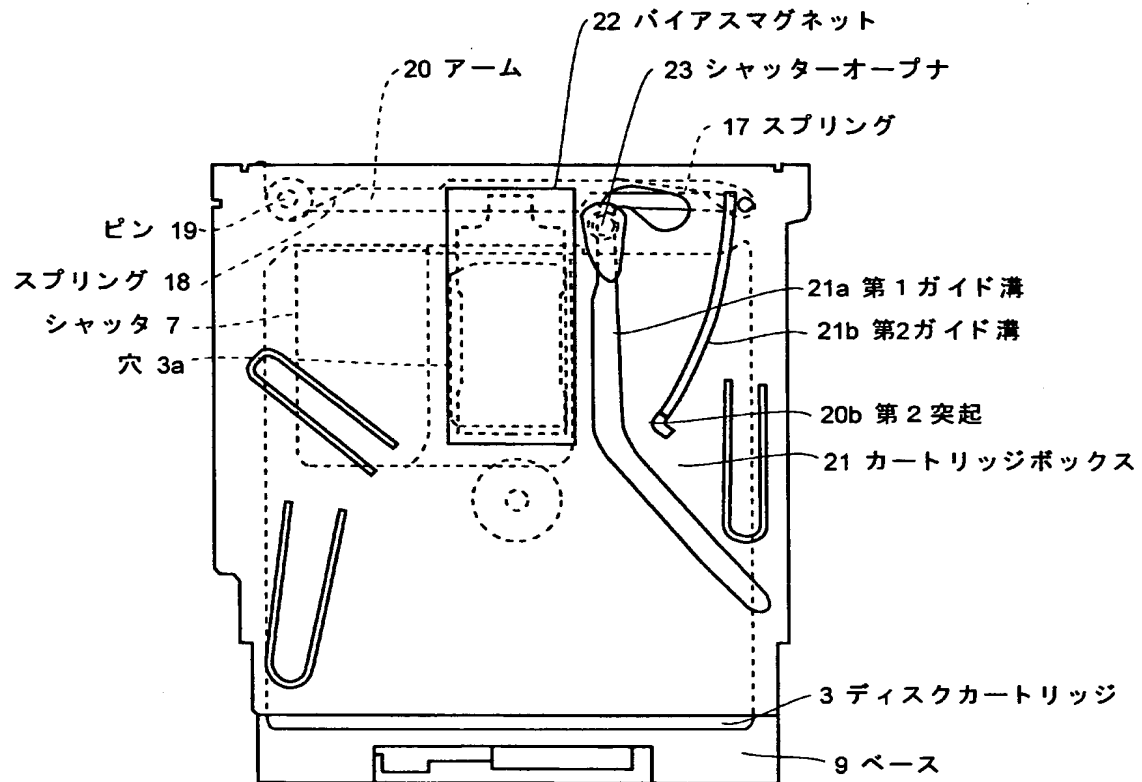
【図 5】



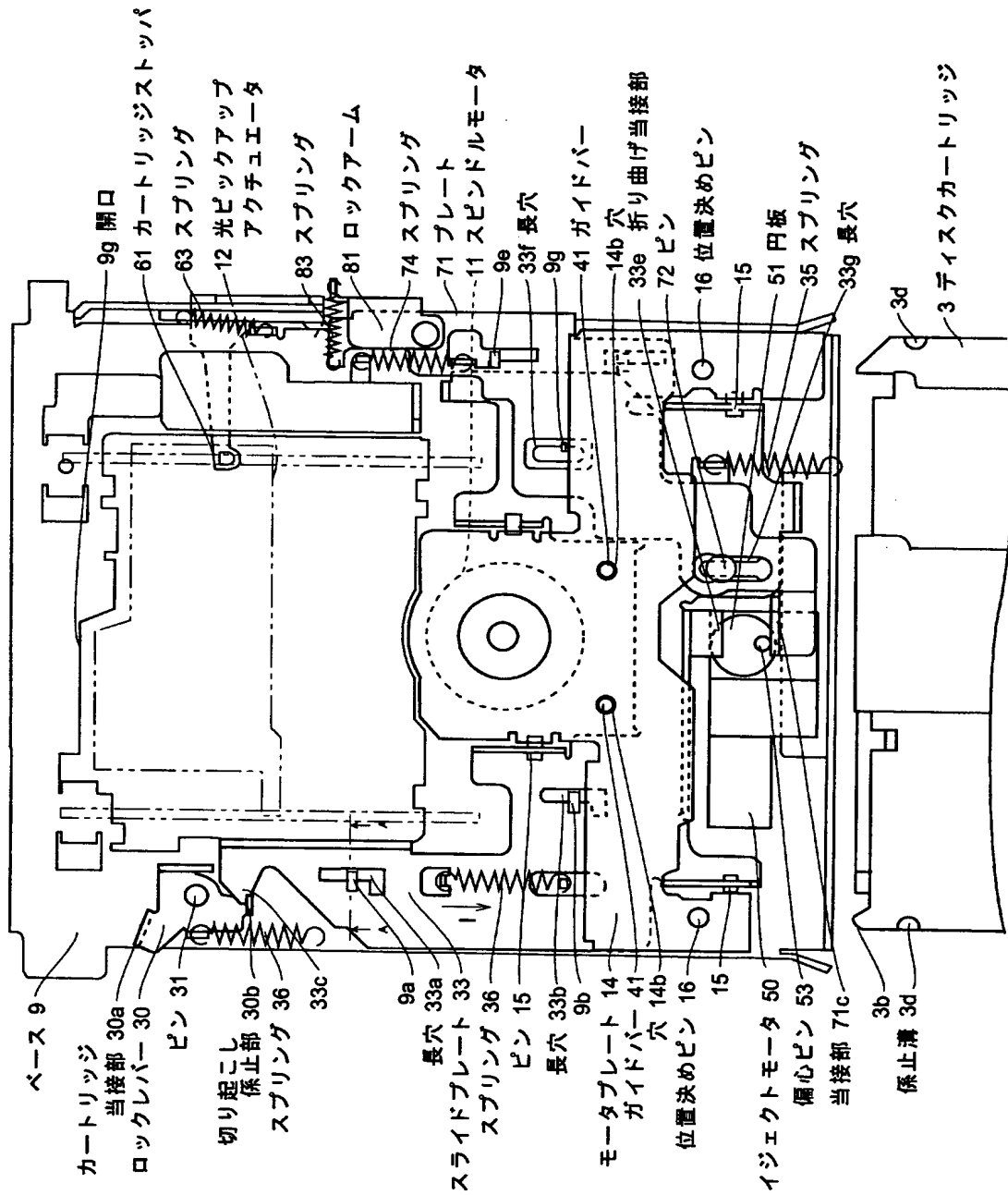
【図 6】



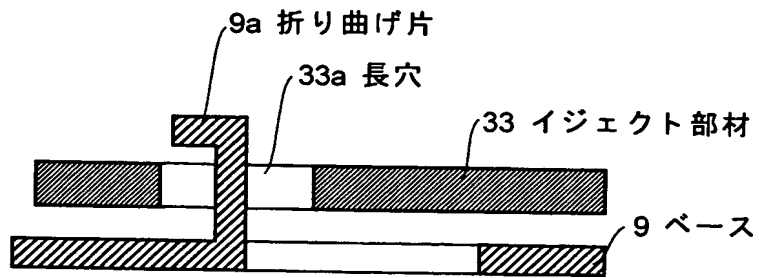
【図 7】



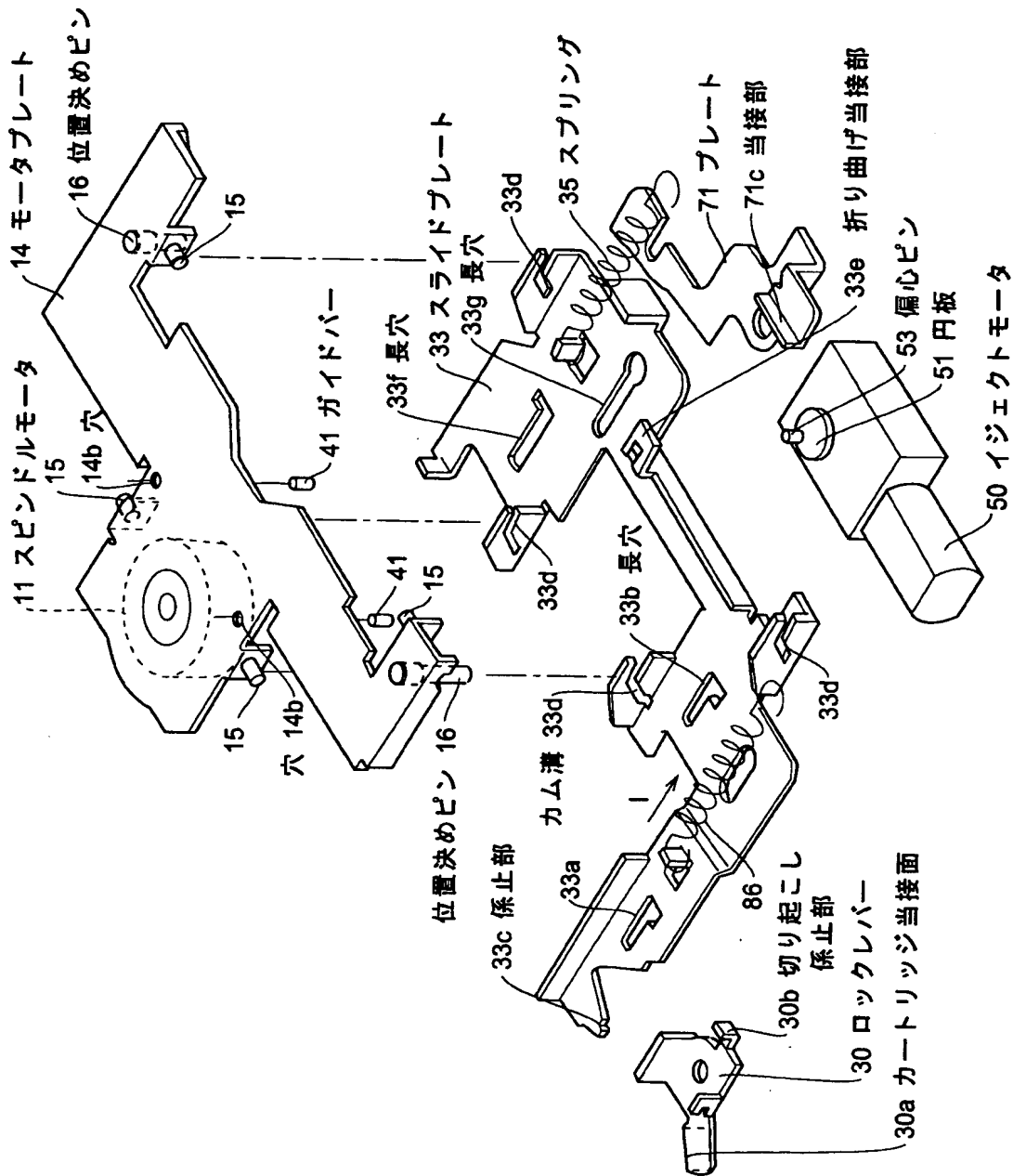
【図 8】



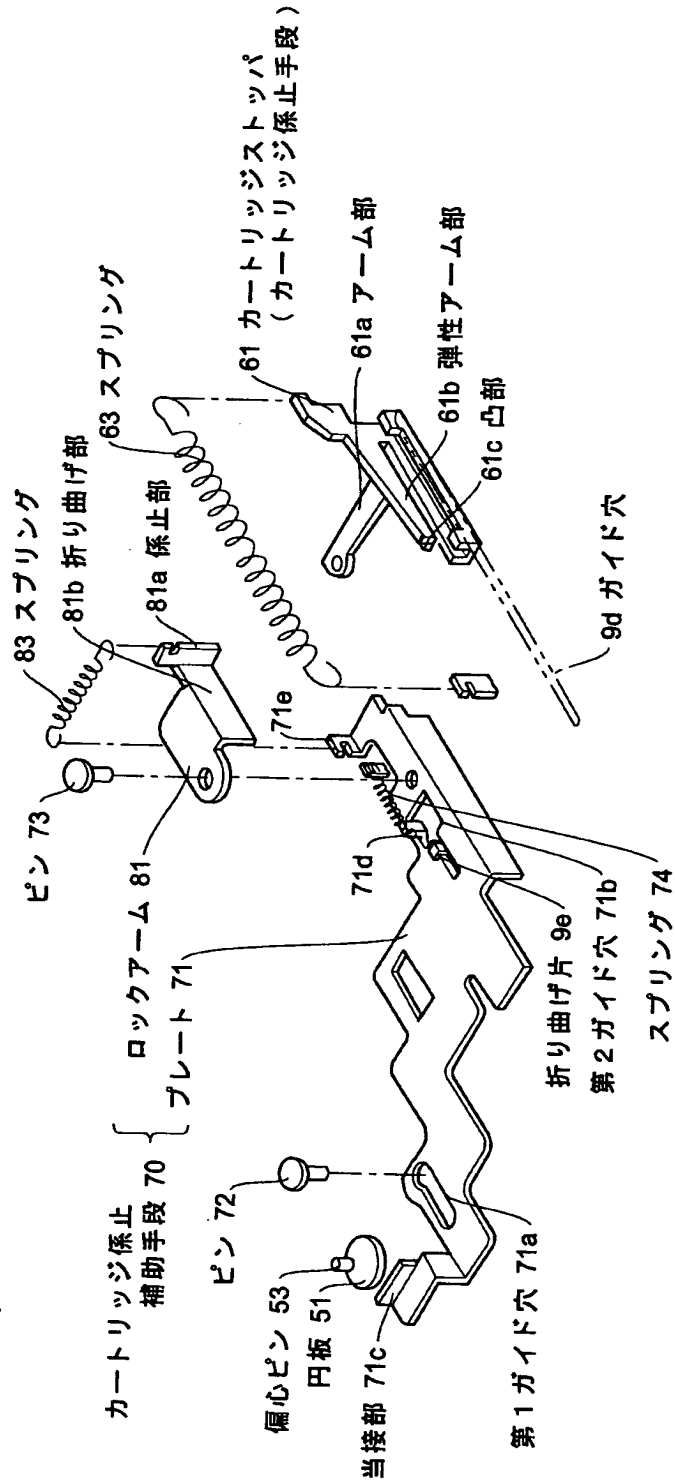
【図 9】



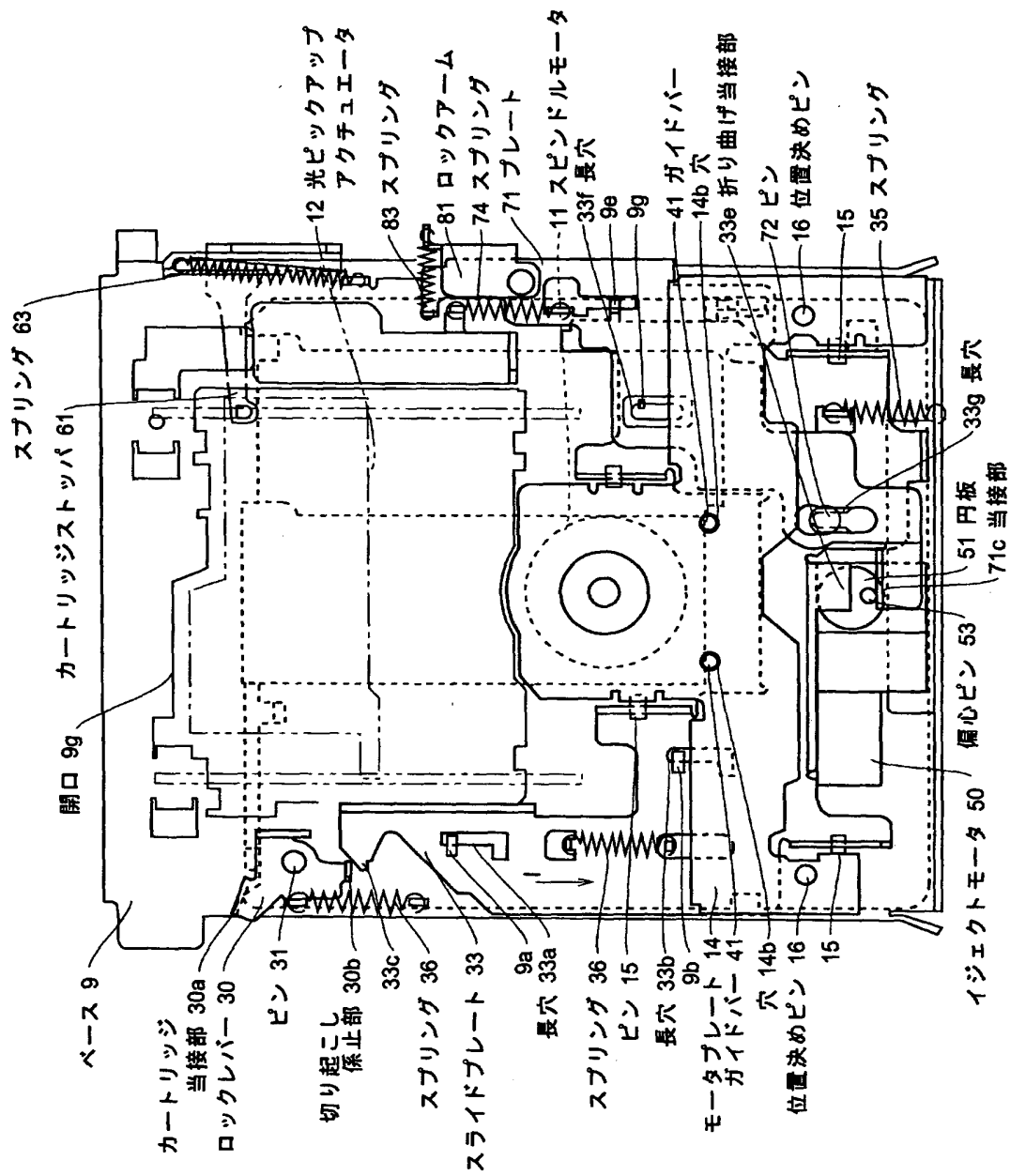
【図10】



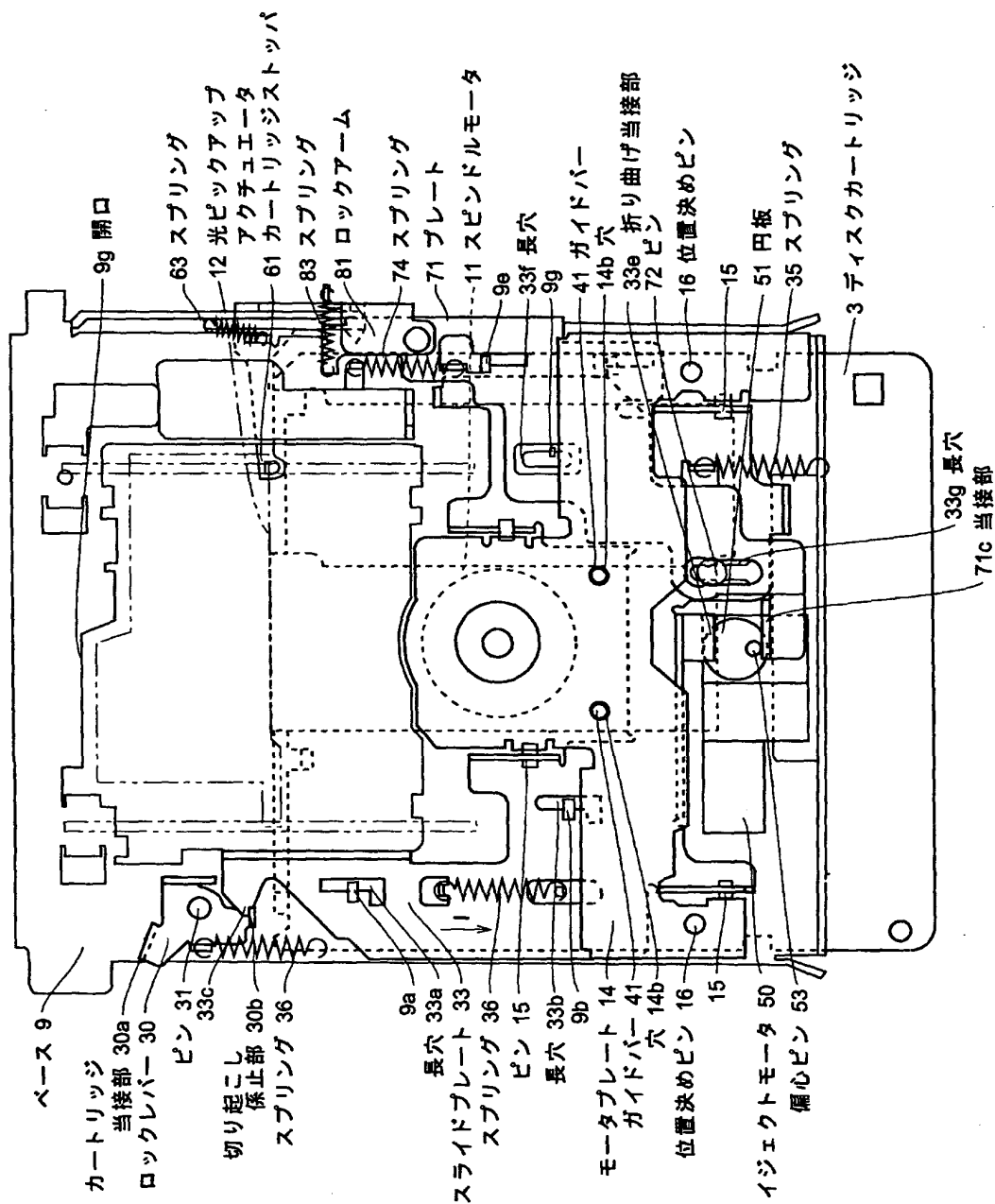
【図11】



【図12】



【図 13】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 必ずディスクカートリッジがディスクカートリッジ取り出し可能位置で停止し、ディスクカートリッジ取り出し可能位置からのディスクカートリッジの取出しが容易であるディスクカートリッジの排出機構を提供することを課題とする。

【解決手段】 ディスクカートリッジがディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した時点で、ディスクカートリッジがディスクカートリッジ取り出し可能位置より更に取り出し方向に移動するのを禁止するカートリッジストップ 6 1 と、その時点で、カートリッジストップ 6 1 のディスクカートリッジへの係止の解除を防止するカートリッジ係止補助手段 7 0 と、ディスクカートリッジがディスクカートリッジ取り出し可能位置へ移動した後に、カートリッジ係止補助手段 7 0 がカートリッジ係止手段 6 1 のディスクカートリッジへの係止の解除を防止している状態を解除する補助解除手段とで構成する。

【選択図】 図 1 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001270]

1. 変更年月日 1990年 8月14日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
氏 名 コニカ株式会社